

おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物
◇2-4面: 新年の抱負 ◇5面: 祝賀広告 ◇6-10面: 日本AALAカンボジアツアー報告 ◇11面: 岸田内閣の大軍拡路線、「老朽原発、うごかすな！」関電包囲全国集会、赤紙配り ◇12面: 行事案内など

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F
2023年1月1日 No. 599



2022.11.29-12.4 日本AALAカンボジアツアー アンコール・トム「バイヨン寺院」
写真：大阪AALA訪問団 記事：6～10ページ



2023
HAPPY NEW YEAR



新年おめでとう
じゅんじゅん

戦争するな！どの国も！
核兵器も軍事同盟もない世界！
非核・平和の北東アジア地域共同体！
非核・非同盟の日本！
今こそ連帯の力を発揮し実現しましょう
本年もよろしく願っています

2023年1月1日

大阪アジア・アフリカ
・ラテンアメリカ連帯委員会

代表委員

理事長
副理事長

事務局長
会計
事務局次長
常任理事

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 安達 克郎 | 植田 保二 | 小林 保夫 | 吉瀬 孝子 | 長谷川道弘 | 上村 得世 | 姫野 浄 | 浜辺友三郎 | 小松 靖昌 | 粕谷 武志 | 高木 裕司 | 西野 敏恵 | 江野久美子 | 尾川 理江 | 下川今朝美 | 堀内 保孝 | 森川 泰明 | 安井 倫子 | 吉本 敦 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|

2023年新年号特別企画：新年の抱負

大軍拡路線ストップ！ 非核・非同盟の国際連帯を！



「全国青年憲法運動」を軸に、青年運動の先頭に立つ
 日本民主青年同盟
 大阪府委員会副委員長
 林 裕也

新年あけましておめでとうございます。
 民青同盟は昨年、長引くコロナ危機、ロシアによるウクライナ侵略、7月には参議院選挙という国内外の激動の情勢のもとで、世界

の大きな流れをつかみ、平和の秩序を取り戻し発展させる行動と学びを草の根で励ますとともに、新自由主義を乗り越える世界的な流れを後押ししてきました。こうした第45回大会期の取り組みを通じて、全国で1715人、大阪では102人の新しい仲間を迎えることができました。1500人という全国の拡大目標を超過達成したほか、大阪では10年ぶりに1000人を超える仲間を迎えた歴史的な大会期となりました。いま、民青同盟の活動が

青年の願いと響き合っています。止まらない物価高騰、無為無策のコロナ第八波への対応、きわめつけは防衛費を大幅に拡充し、国民に負担を背負わせることに、多くの青年が政治や社会に不安を抱き、模索を強めています。この間取り組んできた宣伝では、「変わってほしいけど、どうしたら変わるかわからない」「自分が政治や社会にできることはない」と話す青年に、変わる展

望を示しながら、「一緒に学ぼう」と呼びかけ、青年の立ち上がりを励ましてきました。

そして、昨年11月末に開かれた第46回全国大会で、45回大会期で果たしてきた民青の役割を確認し、「全国2000人の仲間を迎えることを決めました。この第46回大会期は、共青創立100周年の年でもありません。

1923年4月5日、新宿で数人から始まった共青が、いまでは全国でともに社会を変えようと集い、草の根で学び行動を広げています。週1回の班会を土台に、「全国青年憲法運動」を軸にした運動に踏み出し、組織的にも前進を築き、青年運動の先頭に立つ決意です。

住民の命を守る政治に変換させるチャンス
 北瀬 照代

22年も毎日何かと忙しく過ぎてしまった。歳を重ねてくると「きょういく、きょうよう」が大事といわれる。新婦人、年金者組合や退職者会など余り忙しすぎる



北瀬照代さん

のもどうかと思うほどではあるが、今年も同じように元気に過ごしたいものだ。新婦人では絵手紙や俳句、万葉集の学習、年金者組合では絵本の読み聞かせ、退職者会ではハイキングなどそれぞれの取り組みを楽しんでいる。

大阪ではコロナ禍で沢山の死者がでた。私も感染したが、幸いにも軽くて済んだ。まだまだ、何かと行動が制限される状況が続いている。新婦人の仲間と毎年のように行っていた海外旅行もしばらくご無沙汰してしまった。今年こそ海外旅行を再開したい。これまで主にヨーロッパの国々を訪問してきたが、そろそろ他方面にも行きたい。国内とは違い海外旅行は言葉や習慣も異なるので、普段の日常から全く離れて楽しめるのが魅力だ。

また今年の春には統一地方選挙が行われるが、コロナ

※3ページ1段目につづく

※2ページからのつづき
ナ禍で大勢の死者がでたにもかかわらず何の対策も取らなかったような市政・府政を住民の命を守る政治に変換させるチャンスである。微力ながらこの変換にも友人たちと共に力を尽くしたい。

冤罪は他人事ではない

日野町事件に

春を呼びたい

国民救済会大阪府本部
事務局長 河角信治

私は現在、国民救済会大阪府本部に勤務して早や20年が経とうとしています。私の今年の抱負は、えん罪日野町事件の一日も早い再審開始決定を大阪高裁で勝ち取って確定させることです。それは無実の身でありながら冤罪を訴えて獄中で亡くなられた阪原弘さんの思いに報いることになります。日野町事件は私がまだ中学生の頃、1984年12月末、滋賀県日野町の酒店の女主人が行方不明になり翌年1月に他殺死体となって発見されました。また手提げ金庫が4月に山の



なかで発見されました。事件から3年後に同店立飲み客の阪原さんが犯行を自白し逮捕されました。裁判で無期懲役刑が確定し2001年大阪地裁に再審請求。2011年3月、阪原さんが死亡したため2012年、遺族が2回目の再審請求を行いました。そして2018年7月、大阪地裁が再審開始決定を出しました。しかし検察抗告により大阪高裁に係属し、2022年3月25日に結審を迎えましたが未だに

昨年、1月に後期高齢者に、医療費、1割負担喜んだのもつかの間、10月から医療費窓口負担が2割になった、現役世代の負担を減へらすと言うが、僅か月30円、年間、わずか3000円代の軽減とは合点がいきません。お医者に行くのを考えるようになってなんとも寂しい思いを、子ども達にも孫達にも心配かけない自立したたくましい老人にならなくてはと年金一揆に参加

年金一揆に参加

遠田 悦子

裁判所からは何の連絡もない状況が続いています。この事件は、守る会が主体となって支援をすすめています。全国47都道府県に存在する国民救済会も20を超える冤罪事件と共に日野町事件は最も「再審開始」に近い事件として重要な位置付けにあります。冤罪は他人事ではありません。いつ自分の身に降りかかるか分からないということを肝に銘じて今年こそ日野町事件に春を呼びたいものです。

22年ほど前に初めて中国に三泊の旅行。広州と桂



馬場美代子さん

日中友好を願う

馬場 美代子

昨年はギャラリー、ART Space Largoで11月に関東より天野寛子フリー刺繍展、刺繍を通して色々な土地で、いつも心に寄り添ってくれるそんな作品。



作品の前の遠田悦子さん

林を駆け足で訪ねた。孫文が第一回国民党大会を成功させた講堂を見に行った。その廊下の一角に魯迅のコナーがあり、なんと虐殺された小林多喜二の死の報に接して、日本に送った弔電が掲示されていた。 「日本ト支那トノ大衆ハモトヨリ兄弟デアル。(中略)我々ハ知ツテ居ル、我々ハ忘レナイ。我々ハ堅ク同志小林ノ血路ニ沿ツテ、前進シ握手スルノダ。」と魯迅が日本語で書いた直筆の弔電だった。私は、この時初めて、日本のプロレタリア作家小林多喜二に、魯迅たちが熱い思いを持っていたことを知った。多喜二の死を知って、魯迅や茅盾、田漢たち当時の中国の作家たちが、多喜二の文学や業績を称賛し、遺族のために募金活動を呼びかけたそう。 昨年2021年は魯迅生誕140年。多喜二は1933年2月20日に築地警察署で虐殺され、魯迅は1936年に55歳で亡くなる。 共に、第二次世界大戦後の世界を知らず、それぞれの国が抱える封建制や天皇制、軍国主義に立ち向かい、民衆に自覚(覚醒)することを説いた先駆者だった。 かつて高校の現代文の教科

※4ページ1段目につづく

※3ページからのつづき

書に、『藤野先生』という魯迅の短編が収録されていた。魯迅が仙台医学専門学校（東北大学医学部の前身）に学んだ時に、解剖学の授業ノートに藤野先生が朱筆で丁寧な添削をして、中国から来た若い留学生に医学の発展を期待したことが書かれている。藤野厳九郎は福井県出身。あわら市に記念館があり、昭和58年に中国紹興市と芦原町が友好都市を締結した。こうした友好関係が、脈々と受け継がれていくこと、そして、日本も中国も民主主義が花開く時代になることを願いながら、2023年の第一歩を踏み出して行きたい。

2023年に向けての

抱負、私の課題！

井上賢二

・ 若い頃に買った約150枚におよぶクラシックレコードを全て聴くこと！
 ・ 生まれて初めて取り組むウイーンナーワルツ (Viennese Waltz) の踊りを、6月の発表会で成功させること！母によると私は生まれた時から踊っていたらしい！

・ 27年前レンタカーを借りて行き当たりばつたりの海外旅行で出会い、仲間を呼んで歓待して楽しい思い出を作ってくれたアイルランドの青年のお墓参りに一人で行くこと！彼は出会って1年後交通事故で亡くなった。
 ・ 英語を使って世界の人ともっと交流が出来るように、毎日リスニングすること！
 ・ 自分で作れる料理の一品を増やすこと。
 ・ 数学の順列、組み合わせ、確率、三角関数を復習すること。
 ・ データベースソフト Access にビジュアルベシック VBA をかまして利用する方法を探求しそのノウハウをゲットすること。
 ・ 聴いたことのない日本の唱歌や日本に入ってきた讚美歌等の楽譜を音楽ソフトにインプットし、聴くこと。

日頃思っていることを書き連ねてみると大体以上だか・・・。
 私は AALA の運動は、アジア・アフリカ・ラテンアメリカだけでなく世界中の人々とも協力して、世界の平和と私たちの暮らしを確かなものとし、発展させる運動だと思っている。

先日、20代の青年と話す機会があって、私がウクライナ問題を友人と話しているかと訊いたら、友人とは仕事のこと、特にその厳しさについてよく話すウクライナの問題が話題になつていないという。管理職も厳しいし、ついていけなくて辞めて行く人もあるという。最近年配の方から、管理職さえも上からやオーナーから無茶な指示を出され、定年まで10年もあるのに、会社を辞める人がいるという話も聞いている。

独裁は国や企業体など様々な組織レベルで生じるが、手前勝手な強欲と国も企業も根っこでつながる俺オレファースト、フェイク情報、忖度と自己保身、理不尽な成績主義で、正義感溢れる青年層が独裁の歯車にならないように、連帯の重要性をロシア、中国、ベラルーシ、及び類似の国々の人々の情報をTVという動く影像等とおして青年層に声をかけて共に学んで行きたいと思う。同じホモサピエンスに上下はない。人類は誕生以来、みんな助けあって生きて来たのである！を合言葉に！！

困難な課題を解決した

と言える1年に

高木裕司

大阪 AALA の会員の皆さん、読者の皆さん、明けましておめでとうございませう。事務局で AALA 活動に参加しています高木です。自治体職場で退職し、会計年度任用職員として現在も働いています。今年もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年は、1泊2日のバスツアーの開催や国際情勢、国内情勢を論議する中で、会員さんの要望を踏まえた、様々なテーマでの AALA カフェ を取り組み、参加する中で、会員同士の交流の大切さを再認識しました。会員さんとの交流で社会の動きがリアルに伝わります。学ぶ意欲が強まりました。国内情勢では、敵基地攻

撃能力保有が不可欠だとまで踏み込む軍事強化を許さず対話と交渉こそが紛争解決の唯一の道との立場で奮闘したいと思ひます。

今年も憲法改悪を許さない全国署名や東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に方針で活動の強化が求められています。

戦争への道を阻止するためにも、憲法と平和を守る闘いが重要です。

今年も年男なので、自由な時間をたっぷり確保して、映画や美術鑑賞等にと考えておりますが、大阪での政治決戦が待ち構えていますので、夢とまぜ合わせ、現実の具体的な行動成果を勝ち取りたいと思ひます。

今年も AALA 会員を増やしましょう。会員さんの知恵とチカラで困難な課題を解決したと言える1年にしましょう！！



高木裕司さんご家族



9条生かした平和外交！ 大軍拡路線ストップ！

<p>〒530-0034 FAX 〇六・六三五三・六四二〇</p> <p>全大阪労働組合総連合 (大阪労連)</p> <p>議長 菅 義人 大阪市北区錦町二番二号 国労大阪会館一階</p>	<p>〒536-0014 〇六・六九六五・二九〇〇</p> <p>農民組合大阪府連合会 会長 田中 豊 大阪市城東区鳴野西二・五・二二 大阪農民会館一階</p>	<p>〒556-0021 FAX 〇六・六五六八・七七三一</p> <p>大阪府歯科保険医協会 理事長 小澤 力 大阪市浪速区幸町一・二・三三</p>	<p>〒556-0021 FAX 〇六・六五六八・二三八九</p> <p>大阪府保険医協会 理事長 宇都宮 健弘 大阪市浪速区幸町一・二・三三</p>	<p>〒530-0012 〇六・六三三七・二八二一</p> <p>日本中国友好協会大阪府連合会 会長 渡辺 武 理事長 松尾 豊 大阪市北区芝田二・三・一九 東洋ビル本館207号室</p>
<p>〒543-0021 〇六・六七六八・二二〇六</p> <p>大阪府立高等学校教職員組合 執行委員長 志摩 毅 大阪市天王寺区東高津町七・一一 大阪府教育会館七〇七号</p>	<p>〒543-0021 〇六・六七六八・二二三〇</p> <p>大阪教職員組合 中央執行委員長 北川美千代 大阪市天王寺区東高津町七・一一 大阪府教育会館七〇六号</p>	<p>〒540-0004 〇六・六七六八・五三六一</p> <p>大阪商工団体連合会 会長 藤川 隆 広 大阪市中央区玉造 二・二八・四</p>	<p>〒541-0054 FAX 〇六・六二六八・三九七〇</p> <p>大阪民主医療機関連合会 会長 大島 民 旗 大阪市中央区南本町二・一・八 創建本町ビル二階</p>	<p>〒543-0021 FAX 〇六・六七六八・八九四六</p> <p>大阪母親大会連絡会 委員長 松 永 律 大阪市天王寺区東高津町七・一一 大阪府教育会館七〇三号</p>
<p>〒564-0041 〇六・六三八六・四四二八</p> <p>大阪自治労連 吹田市職員労働組合 執行委員長 丹羽野 和夫 吹田市泉町一・三・四〇 市役所内</p>	<p>〒530-0041 FAX 〇六・六三五四・七二〇六</p> <p>大阪自治体労働組合総連合 執行委員長 有田 洋明 大阪市北区天神橋一・一三・一五 大阪グリーン会館</p>	<p>〒556-0011 FAX 〇六・六六三三・七六二二</p> <p>きづがわ共同法律事務所 大阪市浪速区難波中一・一〇・四 南海SK難波ビル五階</p>	<p>〒540-0033 〇六・六九四二・七八六〇(代表)</p> <p>大阪中央法律事務所 大阪市中央区石町一・一・七 永田ビル四階</p>	<p>〒530-0054 FAX 〇六・六三六一・二二四五</p> <p>民主法律協会 会長 豊川 義 明 大阪市北区南森町一丁目二・二五 南森町iSビル七階</p>
<p>旅のことなら JU 観光 〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-18-27 天神ビル4階 TEL:06-6135-7111 FAX:06-6135-7311 https://www.ju-</p>	 <p>沖縄・那覇市・与儀公園の9条の碑 日本で行政によって最初に建てられた憲法9条の記念碑（伊藤千尋：憲法9条の記念碑「5」から</p>	<p>〒596-0053 FAX 〇七二・四三八・七七三四</p> <p>弁護士法人 阪南合同法律事務所 岸和田市沼町一三番二二号</p>	<p>〒534-0025 FAX 〇六・六三五五・一五九一</p> <p>京橋共同法律事務所 大阪市都島区片町 二・二一・四八 J E I 京橋ビル十一階</p>	

カンボジアツアー 11・29～12・4
国際署名を届け、
カンボジアの歴史・文化にふれる旅

「戦争するな!どの国も」の国際署名をASEAN議長国であるカンボジアの外務省に届け、文化や遺跡、人々の生活に触れる日本AALAのカンボジア訪問ツアーに参加しました。

平和、協力、繁栄の共同体をめざすASEANの議長国に署名を届ける日本AALAの運動は2015年から取り組まれているものですが、ここ2年間はコロナで訪問はできませんでした。実に3年ぶりの議長国訪問であり、私にとっては初めてのASEAN加盟国への訪問となりました。11月29日から12月4日までの6日間の日程で、添乗員を入れて18名の訪問団でしたが、実に盛りだくさんの中身の詰まったツアーでした。大阪AALAからは4人が参加しました。訪問日程順に4人が分担してツアー報告を作成しました。(粕谷武志)

【1・2日目】
国際署名提出
粕谷 武志

成田空港に早朝に集合し、午前9時30分に離陸したベトナム航空機はホーチミン空港を経てプノンペン空港に夕方到着しました。乗り継ぎの時間を含めて約9時間の移動時間です。同アジアといっても結構遠いものですが、時差は2時間だけです。その点は身体には楽です。

ASEAN事務局へ 2日目は、さっそく今回の第一の目的であるカンボジア外務省への署名提出です。チャーターバスはバイクと車で溢れる朝のプノンペン市街を走り、王朝風の建物に着きました。私たちはカンボジア王国外務省国際協力省の会議室に案内され、プラークデビッドASEAN事務局次官合わせて5名のスタッフが丁寧に迎えてくれました。(写真①)



① ASEAN事務局に国際署名提出



②ASEAN事務局次官と握手

署名を渡して懇談

大きなテーブルの真ん中に訪問団の野本代表と役員が座り、私たち大阪からのメンバーもちゃっかり末席に座らせてもらいました(写真③)。テーブルに日本から持ってきた1万筆を超える署名を積み上げ、非核・同盟の日本をめざしてきたことや国際署名活動を続けてきたことなど、日本AALAとカンボジアの人々との連帯を表明する野本代表の英語のあいさつから始まりました。それに応えて、次官はASEAN議長国としてカンボジアの努力への理解と直接署名を渡してくれましたことへの感謝を述べられました。ASEAN事務局の対応はとても友好的かつ紳士的でした。わたしたちが毎年署名活動を続け、議長国に届けたことは大いなる意義があったことを感じました。また、ASEANの重層的な対話の枠組みづくりや、徹底した話し合いによって紛争を戦争にしないとりくみなどは私たちが学んでいくべきものがあり、世界にも広げていくものであることの思いを強くしました。



③ASEAN事務局との国際署名提出時の様子



⑤CCIMで日本AALA交流団の記念撮影

カンボジア独立メディアセンターと交流 2日目午後の「独立メディアセンター(CCIM)」との交流は、狭い雑居ビル的な建物の階段を4～5階

急遽決まった交流のため十分な時間がありませんでしたが、チャーンさんが迫害を受けながらも政府監視はやめないと意思の強そうな顔で言っていたのが印象的でした。

ASEAN事務局の職員たちの様子からカンボジア政府には好印象を持っていないところですが、問題のある実態も垣間見えた気がしました。もともと今の日本の報道の自由に対する制限や圧力はそれ以上に深刻かもしれないと思いました。

ASEAN事務局の職員たちの様子からカンボジア政府には好印象を持っていないところですが、問題のある実態も垣間見えた気がしました。もともと今の日本の報道の自由に対する制限や圧力はそれ以上に深刻かもしれないと思いました。



④CCIMと交流

【2・3日目】
大量虐殺センター
地雷平和博物館
堀内 保孝

キリングフィールド「チュンエク大量虐殺センター」 2日目午前の外務省への署名提出の後、バスで「プノンペン市内を抜けてキリングフィールド「チュンエク大量虐殺センター」へ。多くのバイク・車で市内に通勤に向かう人達と逆に小1時間ばかり走り現地に、建設ラッシュで工事の市内からだんだんと広場や畑の広がる景色に変化して行く。9時過ぎに現地に到着。

キリングフィールドとは「1975年4月～1979年1月まで続いた、ポルポト政権下のカンボジアで、大量虐殺が行われた処刑場の総称」と午後に行くとウールスレン刑務所に付属のチュンエク村のキリングフィールドの2つの意味を持つ。トウールスレン刑務所では、拷問、虐殺も行われ最初は敷地内に遺体を埋めていたが、場所も足りない、悲鳴が周りに聞こえるということからチュンエク村に虐殺場所と埋葬場所が設けられたわけである。ポルポト政権下で虐殺された人数は約200万人といわれているので、カンボジア全土に渡り多数のキリングフィールドがあり、トウールスレンの様な刑務所(収容所)があったわけである。

到着してオーデイオツアーのパンフレットを貰い、まず博物館へ(入場料6ドル)。履物を脱ぎあがると、少し薄暗い。博物館というよりは小さな展示場という感じですが。そこで概略のビデオ、写真、説明を見聞きしフィールドを歩くという段取りですが、いよいよビデオ



⑥キリングフィールドの慰霊塔



⑦慰霊塔の前面部分

オを見るといふところまで電になり中止。まだまだカンボジアはインフラが弱いことを実感。展示をそこそこにフィールドへ。フィールドには18のストップ地点がありプレーヤーで解説を聞くことができる。ここにトラックで収容所から運ばれ、埋められる穴を掘らされ、虐殺されたことがよくわかる。痛ましいというより以上の気持ちにさせられる。40年たった今も衣服や骨が出てくるという。ポルポトは中国紅衛兵の影響を強く受けたという。展示室の写真からも多くの年若いクメール・ルージュの兵士により虐殺が行なわれたと推察される。最後に慰霊塔に着くと、そこには約9000の頭蓋骨が収められていた(写真⑥)。(西野さん(夫)、粕谷さんとの3人で献花と線香をあげて、あわててバスへ。トウールスレン博物館 (ポルポト政権下で尋問・虐殺が行われていた刑務所跡地)

チュンエクを後にし、プノンペン市内にもどり昼食の中華料理を食べた後、2時から独立メディアセンター(CCIM)を訪問。交流の後、トウールスレン(S21)博物館に3時過ぎに着。

「毒の木の丘」、当時は存在そのものが秘密であったので暗号名「Sの21」と呼ばれた。ここは元トウール・スヴァイ・プレイ高校であったが、ポルポト派は都市から農村へ市民を強制移動させ無人になったプノンペンの中心に位置するこの場所を1976年4月頃、反革命分子やスパイを尋問し、その係累を暴く「S21」とよばれる施設に転用。2年9か月の間に約2万人が収容され、そのうち生還できたのは8人のみであった。

※8ページ1段目につづく



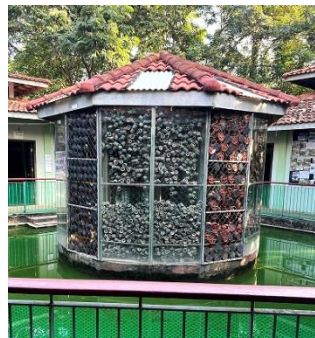
⑧椅子と拘束用ベッド

※7ページからのつづき
 生き残った方が、もうすぐ帰られるというのでまず会い説明を聴き、校舎内の見学にはいる。校舎の教室は小さく区切られ、尋問者の椅子と拘束用のベッドが雑々しく当目を思い起こさせる(写真⑧)。
 2階にあがるとスタッフの部屋があり、少し話すと是非3階のスタッフの部屋にも行けというので行ってみると実にたくさんの様々な国の言葉で書かれた書物が平積みされた棚があり、圧倒的にペーパーバックが多かった。残念なことに日本語のものはなかった。
 しばらく何冊かの本を見ていると、どこから来たのかと話しかけられて、日本から来たとなんとか答える。スタッフの一人が喜び、2〜3人が残念がる。どうも、僕がどの国から来たのか賭けてたようだ。中国人か韓国人に見えたのかも

れない。
 そのうちの一人から博物館のサイトが載っているカードと「MICHAEL VICKERY CAMBODIA 1975-1982」という本を渡される。いくらですか?と尋ねると、プレゼントだという。まさか新手法の詐欺ではないよなと思いつながらセンキューといい遠慮なく受け取る。
 周りを見回すと確かに日本人は誰もいず、3階まで上がってスタッフオンリーの部屋までやってくるのはめずらしかったのかなと思いつ自分で納得する。最後に庭にある水攻めに使われたであろう甕や、処刑場に送る前に撮影されたと思われるおびただしい数の顔写真のある部屋を歩く。日本に帰ったらもつとこの時代のカンボジアの本を読もうと思いつながら、博物館を後にした。
 負の遺産ではあるけれど、為政者が国民に対しても外国人に対しても大虐殺があつたことをしっかりと認めて公開し保存していることは価値あることだと思つ。
 熱心にみてまわる外国の若者に出会うことが多かつた。若者も捨てたものではないと思つ。日本人に会うことは一度もなかつた。も



⑨撤去された地雷の山



⑩撤去地雷の格納庫

つと日本の若者にも、こうした戦争遺跡と向き合つてほしいものだと思う。
 その日は最後に ア・キラー地雷博物館(元少年兵だったア・キラ氏が設立した地雷や不発弾について学べる博物館を訪れまして。個人の努力に頭のさがる思いでした。
地雷除去平和博物館
 翌日の12月1日は、プノンペンからシエムリアップへ1時間ばかりの空の旅で移動。
 昼食後はCMAC(地雷除去平和博物館)に(写真⑨⑩)。

今一つのカンボジアにとつての大きな負の遺産は、400万〜600万発の地雷が戦争中におとされてい、今も未だ除去作業をしているという。地雷は人を殺すことが目的ではなく、戦闘力をそぐとともに、経済的負担を個人にも国にも掛け、疲弊させることが目的だという。「悪魔の兵器」と言われる所以である。カンボジアの地雷除去センターで、カンボジアのいたるところに埋められている地雷と不発弾の実態を知ることができました。フランス、アメリカの侵略戦争、その後のポル・ポト政権との内戦。この内戦への国際介入が招いた、いまだに広大な地域に残る地雷原と不発弾の数々は、日夜、カンボジアの人々を殺傷しています。とりわけ野外で耕作する農民や、野外で遊び行動する子どもたちを殺傷しています。対人殺傷地雷の製造禁止条約がすでに締結されていますが、諸大国はこの条約に署名・批准していません。これら諸大国は核兵器保有をやめようとしませんが、同じ理由で、地雷製造禁止条約にも背を向けているのです。

今日は、いよいよ世界遺産に指定されているアンコールワットとアンコールトムの見学である。天気は少し曇っているが、戸外見学には最高のコンディションである。
 アンコールワットは12世紀に建設された石造りの建築物で、クメール語で「大きな寺院」という意味を持つ。これも12〜13世紀に建設された石造りの建築物で「大きな都市(城)」という意味を持つ。
 アンコールワットとアンコールトムは相互に比較的近い所にあり、共通のチケットで入るのだが、ここでまず驚いた。チケット売り場にはカメラが備えられ、自分が購入したチケットに、免許証のように自分の写真が印刷されているのだ。ちなみにチケットは1枚37ドルである。
 アンコールワットとアンコールトムはいずれも広大

※9ページ1段目につづく

【4日目】
アンコールワットと
アンコールトム
 西野 卓嗣

※8ページからのつづき
な土地に建設されており、周りは壁で囲われておらず、入場者をきちんとチェックする門がない。そこで適当な場所で係員が入場者のチケットをチェックするのである。

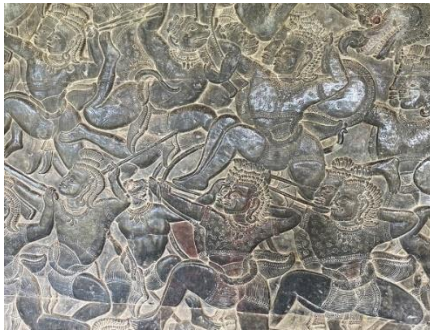
ここからは現地のガイドさんの話になるが、過去は写真がなかったのだそうだ。そうすると係員がチケットをチェックする際に、一度係員に見せたチケットを他の人にまわし、受け取った人が何食わぬ顔をして係員にそのチケットを見せ、チェックをすり抜けるというのだ。どうも中国人が多いというのだが。

アンコールワット

午前中はアンコールワットだ。高さ65mのちよっと巨大なサボテンを思い出させるようなクメール式塔堂



⑪アンコール・ワット



⑫アンコール・ワットのレリーフ

が鎮座ましましている。そして、その周りを取り囲む正方形の土地の各隅に1つづつ、4つの塔堂が設けられている。見るところこれらの塔堂は中央の塔堂より10mほど低いように思われた(写真⑬)。

なお、カンボジアでは、この中央の塔堂よりも高い建築物を建設することは禁じられているらしい。即ち、地上65メートル以上のビルは建てられないのだそうだ。ちなみに「あべのハルカス」の高さは300mである。

これら5つの塔堂の間には、これも石造りの回廊がめぐらされており、その壁には、当時の人々の暮らしや風俗習慣などが、無数の生き生きとレリーフとして刻まれている。昨夜の夕食時に見たカンボジア独特の



⑬アンコール・ワット第三回廊

シヨウで見た、踊り子さんが複雑に手を曲げ、片足を上げて踊る姿の原点がここにあった(写真⑭)。

また、日本人がこんなところで、と意外と思われるものを目にした。加藤清正の重臣森本一久の次男で、右近太夫と名乗る男の落書きの後があつたのだ。ウイキペディアによると、17世紀カンボジア(当時は南天竺と呼ばれた)に、父の菩提を弔い、年老いた母の後生を祈念するために渡り、インドの祇園精舎と思われていたアンコールワットの回廊の柱に墨書(落書き)を残した、というのだ。

ただ、カンボジアの内戦時に上から墨で塗り潰されたらしく、明確には読めなかった。昼食はクメール料理である。



⑭アンコール・トム南大門

アンコールトム

午後からは、アンコールワットの4・5倍の敷地に、多数の石造りの建物が点在するアンコールトムの見学である。敷地が広いために入口から徒歩で奥まで行くだけで相当時間がかかるので、マイクロバスに乗り換え、主要な建築物がある場所の近くまで送ってもらった。

途中で係員がマイクロバスに乗り込んできて、各自のチケットをチェックしていった。なんだかバスで国境を超えるときにパスポートの提示しているような錯覚を覚えた。

アンコールトムは、アンコールワットよりもスケールが遥かに広いものであり、多数の建物が森の中に点在し、中心的建物のバイヨン寺院が最も印象的であ

る。このバイヨン寺院はアンコールワットにあるような塔堂が、小さいものであるが数十個建てられている。そして、中央に10個程度の塔堂がギュッと集められ1個の塔堂にしたように形作られている点が特徴的である。(写真⑮)

また、ここで特徴的な造形は、多数の塔堂の上部に微笑む観世音菩薩の巨大な顔が彫刻されていることである。この微笑む観世音菩薩の顔は、「クメールの微笑み」と呼ばれ非常に有名だとのことであった。

この壁面にも、アンコールワットで見たと同様に、当時の時世を物語的に生き生きと描かれた無数のレリーフが彫刻されていた。

※10ページ1段目につづく

※9ページからのつづき
 ヨン寺院以外にも王様の住居などの多数の石造りの建物の中に点在していた。我々が行ったときには随所で若いカップルが（若くないのも見たような気がしたが）、結婚式のような前撮りが行われており、少し行く手を遮られたこともあった。

アンコール見学の後、現地ガイドさんが、当初予定になかったアンコールワットの夕日を見るツアーへの参加を募ったが、今日一日歩き疲れ（16000歩）、このツアーへの参加者は1名に留まった。

疲れた体を、夕食の中華料理と、ホテル近くのアツサージでほぐすメンバーもいた。ちなみにマツサージは1時間程度で15ドル（2000円程）である。最後に、これも現地のガ



⑮アンコール・トム
「バイヨン寺院」

イドさんの話であるが、アンコールには、コロナ禍前は毎日1万人以上の観光客が来ていたそうだ。そうすると1日の収入は37ドル×1万人で37万ドルとなり、年間1億3千500万ドル（日本円で180億円）となるが、彼はそのお金はどこに使われているかわからない、と言っていた。

**【5日目】
 水上生活の様子を見ながら児童との交流**
 西野 敏恵

さて、最終の日となったこの日の目的は水上学校の訪問である。大きな湖はトレンサップといい、琵琶湖の約8倍の広さであった。

大いに期待して行ったのだが、土曜日であり、休校であった。がっかり！が、近くに暮らす子供たち約30人が私たちを迎えてくれた（いつもは50人位）。もちろん教室も集会室も2せきの船を平行に並べてくっつけがある。板敷の集会室（船といふべきか）に座って待っていてくれた。第1印象は「子供たちが日焼けしていない!!」だった。年齢は3歳か



⑯水上バス

ら18歳までの子供たちで皆1年生（写真⑰）。

カンボジア王国の学制には合わせていない。「読み書き計算」ができればよいと考えてのことだろうか。

雨季と乾季で水量の変化が大きく、その時々で船を移動して生活の場を変えていくのだ。

先生は6人。ベトナムから派遣されたそうである。カンボジア語（クメール語）とベトナム語を学んでいるが、ポルポト政権時にこの水辺に追いやられ、ベトナム人が集められ、集落ができあがったそう、「これを経済難民という」と、鈴木勝比古さんの説明で納得した。今も知人、友人を頼ってこの地に来ているのだそうだ。ベトナム難民はカンボジ



⑰子どもたちとの交流

ア国籍を有さないもので、土地を所有することができない。それゆえ船上での生活となったのである。

水上学級に来るときは親の送り迎えがあるそうだが、この日、一人の小学生が姉妹を乗せて細長い舟をたくみにあやつっていた。かなりのスピードで進んでいた。こちらをチラリと見た

がスピードは変わらなかつた。責任感にあふれた顔つきの子に、私は感動した。水上学級でのプレゼント贈呈の方法はもつと工夫をこらすべきだと思った。折り紙文化はいいが、「鶴」は難しすぎる。達成感のあるものでなければ、逆に子供たちの心を乱してしまうと思った（写真⑱）。



⑲大阪 AALA 訪問団

海かと思うほどの大きな湖の水面を見ながら「きょう出会った子どもたちは、じじ、ばばの集団に対してどんな思いを持ったのだろう。」と考え込んだ。消化しきれないほど事象に少々疲れた気分であった。



⑱折り紙

敵地攻撃への大軍拡と生活圧迫予算

石川康宏 @walumono0328 - 7月16日
 「政府は2023年度予算案の概算要求基準で防衛費に上限を設けない方針だ。他の予算と違って例外扱いにすることで幅広い提案を募る。日本への攻撃に対する「反撃能力」に使う防衛装備やサイバー・宇宙などの増見込む。月内にも閣議了解する」。

軍拡最優先の国づくりへ。



2020年の世界の軍事費上位10カ国

1	米国	7780億ドル
2	中国	2520億ドル
3	インド	729億ドル
4	ロシア	617億ドル
5	英国	592億ドル
6	サウジアラビア	575億ドル
7	ドイツ	528億ドル
8	フランス	527億ドル
9	日本	491億ドル
10	韓国	457億ドル

軍事費が倍増すると

ストックホルム国際平和研究所の資料から作成

軍事費の推移



現行1.6倍政府・自民狙う

軍事費 5年総額 43兆円

NATO基準でGDP比2%に

左は石川康宏先生の講演資料から

NATO基準というけれど、NATOは戦争を止められてない

●20

年末、岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有、GDP比2%への軍事費という大軍拡の道に公然と踏み出しました。そしてこの道は国民生活を圧迫することは火を見るよりも明らかです。今こそ、憲法9条を生かした平和外交がきわめて重要です。

大軍拡路線ストップ！
国民生活守れ！



訴える中寫哲演住職

大阪AALAからは12月初めの福井への旅行で中寫住職のお話を聞いた、上村得世、小松靖昌、安井倫子、堀内妙子の4人が参加しました。

「老朽原発、うごかすな！」
 福井県民会議の小浜・明通寺・中寫哲演住職の主催者挨拶で開会。老朽原発とのたたかいを続けている各地の代表の報告が続きました。全国で脱原発を闘っている仲間からのメッセージも紹介されました。最後に「老朽原発動かすな！」のポテッカードを掲げた後、鞆公園に会場を移し、その後、難波までデモ行進し解散しました。

12月4日(日) 13時、関電本店前には千人近い人が集まり、「老朽原発、うごかすな！」関電包囲全国集会が開かれました。

「老朽原発、うごかすな！」
関電包囲全国集会

各弁士は、日本が軍事費を増やし、憲法9条を変えようとしている自民党政治

AALAからは上村得世副理事長と西野敏恵事務局次長が参加。他数名のAALA会員も参加しました。

参加した団体の代表が次々とマイクを持ち、通行人に訴え、赤紙を配りました。

12月8日(木) 11時から1時間、母親連絡会主催の「赤紙配り」の宣伝行動を高島屋前で実施しました。20団体が参加。参加者は40人。この日大阪府下35か所で同様の取り組みが実施されました。

母親連絡会主催
「赤紙配り」の宣伝行動



高島屋前での「赤紙配り」の宣伝行動

を許さない取り組みの訴えを次々としました。「赤紙」を受け取りながら、熱心に聞いていく中学生もいました。

お詫び

1月15日(日)開催予定のAALAカフェ第31回、「ウクライナの歴史と文化、そして無法の侵略をうける今！」は、会場の確保が急遽できなくなったことにより、残念ながら中止することになりました。

大阪AALA主催

「ASEAN議長国カンボジア訪問団報告会」
+「新春のつどい」

◇とき 2月19日(日) 13:00-16:30

◇ところ 高津ガーデン・ガーベラ

〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11
最寄り駅 地下鉄「谷町9丁目」、近鉄「大阪上本町駅」

◇参加費 1,000円



文芸欄

川柳

心ひとつ政治革新遂げる春
「青い星」上梓しました感無量
都構想二度負けてなお諦めず
大阪市旭区 近藤 正
自民党もう改憲をしたつもり
介護削り軍事費大事自民党
ウクライナ火薬の匂いで年明けへ
大阪府四條畷市 西川 寛

「英語で世界を読む会」へのお誘い

毎月第4火曜日の昼から、AALA事務所で、新聞記事を中心に英語を読んでいます。

「安倍国葬」は、海外メディアはどう報じたか？

「習近平体制ってそれほど盤石なの？」

日本の報道とは異なった視点が新鮮です。

みんなで、あ～だ、こ～だと言ってるうちに、「そういうことか！」と分かったり、時には「わからなかったり…」頭の体操・脳トレにもなりますよ！

1月例会は24日(火) 2時～4時、AALA事務所です。テキストはサッカーワールドカップ開催にまつわるスキャンダルの記事です。

The Guardian, “Ten years of hurt: how the Guardian reported Qatar’s World Cup working conditions.” Sat 19 Nov 2022.

連絡先 0797-85-9151 安井宅

メール pichan5@hotmail.com

連絡いただければ、
テキストをお送りします。

気軽にどうぞ！



12/10 人権デーに寄せるアントニオ・グテレス国連事務総長メッセージから(抜粋)

世界は、人権における未曾有かつ相互に連鎖する課題に直面しています。飢餓と貧困が拡大しています。これは、何億もの人々の経済的・社会的権利に対する侮辱です。シビック・スペースが狭められています。世界のほぼすべての地域で、報道の自由とジャーナリストの安全が危険なほどに低下しています。特に若者たちの間で、制度に対する信頼が失われつつあります。・・・

人種主義、不寛容、差別が蔓延しています。気候変動、生物多様性の喪失、汚染という地球の三重の危機から、人権をめぐる新たな課題が浮上しています。また私たちは、一部のニューテクノロジーが人権に及ぼす脅威をようやく理解し始めたばかりです。・・・私が2020年に立ち上げた「人権のための行動呼びかけ」では、私たちが直面する課題の解決策の中心に、人権を据えています。

このビジョンは、人権に根差した新たな社会契約の導入を求める、『私たちの共通の課題 (Our Common Agenda)』に関する私の報告書に反映されています。

来年迎える世界人権宣言の75周年を、行動の機会としなければなりません。・・・

大阪AALA
へのお誘い

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円

*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金をお願いします。

*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



Osaka

発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)

Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F

TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coccan.jp/

機関紙・宣伝委員会